

チュニジア国
人口教育促進プロジェクト
計画打合せ調査団報告書

平成5年12月

国際協力事業団
医療協力部

417
23.3
MCN

医	三
↓	R
93	- 54

JICA LIBRARY



1120999161

2803)

テュニジア国
人口教育促進プロジェクト
計画打合せ調査団報告書

平成5年12月

国際協力事業団
医療協力部

国際協力事業団

28031

序 文

チュニジア国人口教育促進プロジェクトは、平成元年2月にチュニジア国政府より、同国の第8次5ヶ年計画（1992～1996）の中で重要課題と位置付けられております家族計画事業、中でもI E C（Information, Education, Communication）活動での協力要請を受け、I E C関係者のレベルアップによる家族計画教育の促進を目的として平成5年3月より5年間の活動を開始しました。

平成5年11月、協力開始から8ヶ月が経過し、国際協力事業団はプロジェクトの進捗状況と派遣中の専門家の活動状況、チュニジア側の対応状況等の現状を確認し、問題点の把握、今後の対応策等をチュニジア側、日本側専門家、現地日本大使館ならびにJ I C A事務所等関係者と協議することとし、平成5年11月20日より11月29日まで計画打合せ調査団を派遣しました。

本報告書は、その調査結果をとりまとめたものです。ここに、本調査にご協力を賜った関係各位に深甚なる感謝の意を表しますとともに、プロジェクトの効果的な実施のために、今後とも関係各位にご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

平成5年12月

国際協力事業団

医療協力部長

小早川隆敏

目 次

序 文

1. 計画打合せ調査団派遣	1
1-1 調査団派遣の経緯と目的	1
1-2 調査団の構成	1
1-3 日程表	2
1-4 主要面談者	2
2. 総括	3
3. 暫定実施計画の進捗状況	9
3-1 専門家派遣	9
3-2 研修員受入れ	9
3-3 資機材供与及び利用状況	9
4. カウンターパートの現状	10
5. 実施運営上の問題点	12
5-1 プロジェクトの現況	12
5-2 問題点	14
5-3 展望	15
附属資料	
① 協議議事録	19
② Procès-verbal de réunions	28
③ プロジェクトPDM	37
④ 国家家族人口公団組織図	38

1. 計画打合せ調査団派遣

1-1 調査団派遣の経緯と目的

チュニジア国（以下チュニジアと略す）は1957年以来家族計画推進事業を展開した結果、年間人口増加率は1966年の3%から1989年には2%迄減少し開発途上国における家族計画の成功例として言及されるまでに至っている。

しかし現状は、コミュニケーションが困難な中西部・南部の農村地帯での家族計画普及が遅れる等国内の地域格差が大きく、女子の教育水準も総じて低い。更に、男性に対する教育の推進、都市へ流入する人口の対策、家族計画と保健事業との統合、及び将来的なエイズ対策等、人口家族計画事業の抱える課題は依然として多い。

かかる背景よりチュニジア政府は第8次5ヶ年計画（1992年-1996年）の中で人口家族計画を重要課題として位置付け（人口増加率を1989年の2.0%から1996年に1.8%まで低下させる）、更なる拡充を図るために1989年2月に我が国に対し本事業の協力の可能性を打診してきた。

我が国は本要請に基づき、本年1月に事前調査、3月に実施協議調査を行い、R/Dを署名交換し、3月23日より5年間に渡るIEC（Information, Education, Communication:以下IECと略す）活動を主眼とした協力を開始した。

本年度は、4名の長期専門家及び2名の短期専門家の派遣、4名のカウンターパート研修員の受入れ、80,000千円の機材供与を実施及び計画中であり、協力開始以降の上記協力分野の技術移転に係る問題点等を正確に把握し、今後の協力計画策定の指針を得、特に専門家派遣の中心業務である以下の3点につき今後の方針を策定すべく調査を行うこととなった。

- 1) 視聴覚教材制作
- 2) 教材普及；フィードバックシステム
- 3) IEC調査

以上の結果を踏まえ、専門家派遣・研修生受入れを始めとする協力計画の詳細を策定し、今後の協力方針を立案し、あわせてプロジェクト・デザイン・マトリックス（PDM）を作成すべく本調査団を派遣した。

1-2 調査団の構成

	担 当	氏 名	所 属
団 長	総 括	大石 千尋	国際協力事業団医療協力部 医療協力第2課長
団 員	視聴覚教育	内海 成治	国際協力事業団 国際協力専門員
団 員	協力計画	頼田 街子	日本国際協力センター 開発部嘱託職員（IEC調査専門家）

1-3 日程表

日順	月 日	曜日	移 動 及 び 業 務
1	11. 20	土	移動 東京 - アムステルダム (JL413)
2	11. 21	日	移動 アムステルダム - テュニス (KL109) プロジェクトとの打合せ
3	11. 22	月	日本大使館、JICA事務所 外務省表敬、ONFP表敬及び協議
4	11. 23	火	ONFP協議・モデルエリア視察
5	11. 24	水	ONFP協議・視聴覚センター視察、クリニック視察
6	11. 25	木	ONFP協議
7	11. 26	金	議事録署名、日本大使館報告
8	11. 27	土	移動 テュニス - パリ (AF8835)
9	11. 28	日	移動 パリ - (JL401)
10	11. 29	月	- 東京

*大石団長は、エジプトにて打合せの後11月18日(木)にテュニス着
(TU614、12:40着)

1-4 主要面談者

テュニジア側

(1) 外務省

Mr. Moncef BEN ATTIA Director for Asia
Ms. Zohra BEN HAMIDA Chief of Japan Division

(2) ONFP (Office National de la Famille et de la Population)

Dr. Mohamed Moncef BOUKHRIS President Director General of ONFP
Ms. SaYda AGREBI Deputy General Director of ONFP
Mr. Ahmed ABDENNADHER Director of Region
Mr. Abdelkrim YAHIA Deputy Director of International Cooperation
Mr. Mohamed REZGUI Chief of Communication Technique Service
Mr. Mahmoud CHELBI Chief of Information Division
Mr. Rachid BEN SLAMA Chief of Plannification and Research Service
Mr. Fauzi MOSBAH Social Marketing Service
Mr. Chokri BEN YAHIA Plannification and Research Service
Mr. Adnen BELHADJ AISSA Chief of Public Relation Service

(3) アリアナ クリニック (Clinique de l' Ariana)

Dr. Rim HAMZAOUI Obstetrics Gynecologist

(4) バルドー クリニック (Clinique du Bardo)

Mr. Amor MAHOUDHI Regional Delegate

2. 総括

(1) テュニジアの人口家族計画政策

チュニジアの人口家族計画に対する方針は、3年ごとにONFP総裁名で出版されるポリシーペーパーに明記される。これはUSAIDの支援により、3年毎に各セクションの職員を集めた検討会を持ち、そこでの結果を持ち寄ってまとめることになっている。次回は1994年3月に行われるとのことである。従って現在は1991年のポリシーペーパーが最も新しいものである。今回の調査団に対して、アグレビ副総裁より英語版を受け取った。

このペーパーによるとチュニジアの人口政策の目的は次の3点である。

- ① 人口的なバランスを整える。
- ② それぞれの対象グループに対する特定の試みを行う。特に農村地域、母親と子供、女性、青少年である。
- ③ 社会の細胞というべき家庭に重要性を与える。

この方針を踏まえてONFPの活動の目標とするべき点は次の3つである。

- ① 人口増加率の減少：国家目標及び可能性と比較してまだ高い。

チュニジアの人口は1966年の453万人が1989年には791万人に増加した。人口増加率は1966年が3.01%で、1984年は2.54%であり、1990年は1.91%と考えられている。第7次国家開発計画を達成するためには更に人口増加率を減少させる必要がある。

- ② 女性及び家族の健康促進：身体的、精神的、道徳、社会的側面。

人口的に安定した社会を形成するためには生活水準を向上させることが重要である。それには女性の教育水準、雇用、健康、社会保障の向上が必要である。

- ③ 責任ある家族の形成：国の経済的、社会的、文化的発展の基礎である。

責任ある家族を形成するには結婚年齢を遅くすることのほかに、家族計画の知識が普及することが必要である。避妊の採用は1978年の31.4%から1988年には49.8%に上昇している。

(2) ONFPのメディア方略

IEC部門はONFPの目的を果たすために重要な機能として位置付けられている。

対象とされる集団は、既婚で出産可能年齢にある女性、子供の教育と成長に責任を持つ両親、将来家族を持つ若者である。こうした人々が子供を生み、育てることに高い関心を示し、責任ある行動を取るよう働きかけることが重要である。更に避妊や家族計画に関する間違った情報を訂正し俗説を根絶する。また、母性の保護を中心課題としている。

これらの目的を達成するためのIECの方略としては、以下の通りである。

- ① 幅広い対象者をもつテレビ放送による情報伝達

メッセージ内容は行動の変化、間違った時の訂正、女性に責任をおわせることなく男性

の自覚を促すこと、予防と概念と態度の重要性を普及させること等である。

② ラジオ放送及び新聞による情報伝達

全国及び地域ラジオ放送と全国紙と地方紙を利用して正確な情報の提供、早急に記憶させるべき情報の伝達を行う。ラジオと新聞は実践的な情報を伝えたり家族計画サービスのガイダンスを行うのに適している。

③ 簡易広報手段の利用

携行出来る教材（リーフレットやフリップ）を利用して青年や学生に対して危険な行動に対する警告を行う。

④ 家族計画に関するセミナーの実施

家族計画に関する正確な情報の提供、意識づけなどのためのセミナーを国家、地域レベルの政策決定者及び担当者、職域団体の代表者などを対象として実施する。

⑤ 遠隔地や家族計画の行き届いていない地域でのキャンペーンの実施。

⑥ 個人間コミュニケーションの強化。

(3) テュニジアのメディア戦略の課題

こうしたメディア戦略はあるものの、それに伴った実践がまだ不十分であると感じられる。3年毎の目標は定められているが、年度計画や具体的なメディア制作目標とメッセージ内容等は決定されていないようである。その理由として、ONFP内の視聴覚メディア制作部門が非常に弱体なことが挙げられる。機材的にはUマチックビデオの編集機が導入されているにもかかわらず、スタッフの能力が十分でないために内部の自主的な制作活動が行われていない。テレビスポットや教材は外部プロダクションに委託している。そのため制作費が高くなる。今回の調査でONFPが外部に発注して制作したものを数本試聴したが、水準はかなり低い。テュニジアでのテレビ放送も技術的に未熟なことから、メディア制作技術が本格的に根付いていないと思われる。そのため、これまでのメディア戦略は個人間コミュニケーションが中心で、もっぱら医師や助産婦が家族計画相談を担っていたと考えられる。

これがテュニジアの家族計画が農村や医師、助産婦との直接的なコミュニケーションが困難な地域に広がらない原因であると推定される。メディア戦略にマスメディアの利用が挙げられているが、ほとんど活用されていなかったと考えられる。また利用されても海外からの援助資金による短期的キャンペーンのみでONFP独自の長期戦略に基づいたものでは考えられない。

それゆえに、本プロジェクトが行うべき活動の目標は、個人間コミュニケーションを支援するマスコミを利用したメッセージの伝達がONFP独自で出来るようにすることに置くべきであると考えられる。

今回の調査で相手側との打合せを3日間行ったが、アグレビ副総裁以外のIECセクションのスタッフや視聴覚メディア部門のスタッフからの発言はほとんどなかった。彼等が自主的に

活動できるようにすることが重要である。

(4) プロジェクト計画の実施体勢

1) コミュニケーションセンターの建設

当初の予定ではコミュニケーションセンターは現在のONFPのビルの1階部分を改造して建設することになっていた。しかしながら、ブプリス総裁及びアグレビ副総裁がトルコ人口教育促進プロジェクトを見学したことから、本格的なスタジオを建設することになった。バブサドウン地区に新しい候補地を選定した。

ONFP本部から車で約10分のスタジオ予定地は、敷地及び環境的には本部よりスタジオ建設に適していると考えられる。ONFP内のスタジオ予定地は狭くまた発展の余地のないビル的一部分なので、この決定は歓迎すべきである。

スタジオの建設のための概略計画はすでに出来ており、調査団はONFPが依頼している建築業者と電気関係や空調設備についての打合せを行った。業者との打合せの中で、建築許可申請をするためには、建築図面と電気図面が必要であり、完成を6月とすると、12月中に図面を完成させる必要があるとのことである。この計画は時間的にかなり無理があるため建築が遅れる場合に関しても検討しておく必要があると思われる。その場合、スタジオ建設予定地内にある2階建の事務所棟を利用することも考えられる。更にはスタジオ予定地に現在ある倉庫を一部手直することも検討されるべきであろう。

チュニジア側から空調設備について輸入品であり購入が困難なため、日本からの供与機材に含めてほしい旨、要望があった。

2) 基礎調査

家族計画及びメディア環境に関する基礎調査は、モデルエリアと考えられているテュニス近郊のバルドー地区と農村地域の2ヶ所で実施する予定である。バルドー地区は郊外の間層以下住宅地である。現在、集合マーケットであった円形の建物を地域母子保健センターに改築することが考えられている。新しいセンターにはコミュニケーション部門を用意して、活動することが考えられている。ONFP本部と地理的に近いため、IEC戦略のための基礎調査の実施、作成されたメディアの試用や評価地域としては最適ではないかと考えられる。

農村地域についてはチュニジア側からガベス地区が適しているのではないかと強い要望があった。南部の海岸沿いであるが車での通行が可能で、ONFPの活動が活発であることなどが理由として挙げられている。

3) 制作活動

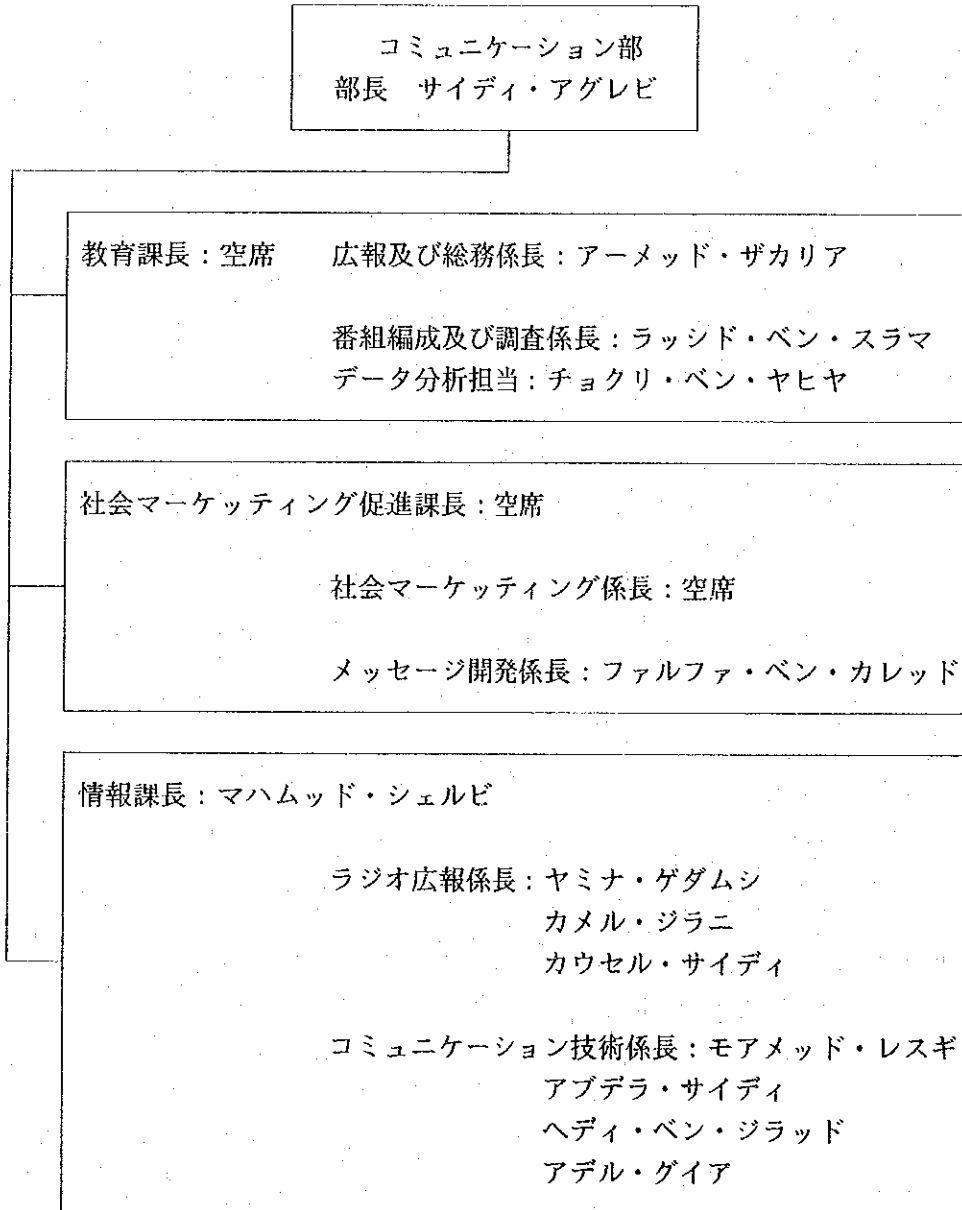
チュニジア側の体制が不十分であり、また制作機材が未着であるため、まだ具体的な活動は行われていない。しかし、チュニジア側から1994年9月にカイロで開催される世界人口開発会議に向けての広報用ビデオを本プロジェクトで制作して欲しい旨、強い要望があった。本プロジェクトや日本の家族計画協力を広く伝える良い機会であるので積極的に進めるべき

であると思われる。

(4) プロジェクトの実施上の留意点

1) カウンターパート

ONFPコミュニケーション部の組織は教育課、社会マーケティング課、情報課の3課に分れている。組織図は次の通りである。



視聴覚制作に関するカウンターパートはコミュニケーション技術室のレスギー係長以下の4名である。いずれもONFPの正規職員で経験は長い。そのため年齢的にグイアが28才と若い他は40才以上であり、新しい機材を導入して活発な制作活動を行っていくことはかなり困難であると思われる。また現在のスタッフは英語力がかなり劣る。こうしたことから新た

な人材をこの部門に導入する必要がある。

他の2つの課は課長席が空席でありアグレビ副総裁(部長)が直接指導している。しかし、社会マーケティング部門は、副総裁がこれまでに最も力を入れている部門であり、人材もかなり充実している。そのため基礎調査・メディア環境調査には、現在の体制で充分対応できるものと思われる。

2) 調査

当面はバルドー地区での調査を行う。我が国にはチュニジアの資料がほとんどないので、基本的な家族計画意識、知識、実施の調査とメディア環境調査を実施するべきであろう。ただし、チュニジア側は自分たちの活動に自信を持っているので、彼等の方法に従って調査を進めていく必要がある。特にバルドー地区はONFPのひざ元でさまざまな活動が実施されているところであり、これまでの活動を検討する意味での調査という視点も必要であろう。そのため、日本からは人口学の短期専門家を派遣することも考えて良いであろう。

3) メディア制作

これまでにONFPでは、毎年数本のテレビスポットと番組を制作している。制作に当たってはONFP内での制作が出来ないため放送局や外部プロダクションに外注していた。

1994年の制作計画は出来ていないが、テレビスポット、情報提供番組、ニュース素材、ラジオスポット等を制作する必要がある。本プロジェクトをONFPの内外に知らせていくには目に見える具体的な活動が重要である。

また、世界人口開発会議用ビデオとは別にプロジェクト紹介ビデオを早い時期に制作する必要がある。

(5) プロジェクトの印象

1) テュニジアの特殊性

チュニジアに対しては、これまで同種のプロジェクトが実施されているトルコ、ケニアとかなり異なったアプローチが必要であると感じた。その理由は国情が違うということではなく、人口家族計画実施機関であるONFPの性格が非常に特殊であることによる。保健省の管轄下にあるがかなり独立性の高い機関である。またケニアの人口審議会とは異なり、医師、助産婦、看護婦が職員として従事しており、具体的な活動を全国的に展開している。家族計画に関するキャンペーンをマスコミだけではなく個人間コミュニケーションのレベルでも展開していることである。これまでチュニジアが家族計画運動にある程度成功しているのは、こうしたONFPの性格と活動にあると思われる。

そこで日本側の対応は容易であると思われる半面、これまでの彼等の蓄積に基づいた慎重な協力が重要であろう。

しかしながら、チュニジアは人口820万の小国であり、予算規模もかなり小さい。そのためONFPの予算的対応はかなり難しいため、現地予算をあまり必要としない活動形態を探

らねばならない。

小さい国の機関の通例として、トップのワンマン体制が強い。ONFPではアグレビ副総裁はIEC部門の部長を兼ねており、プロジェクトに与える影響が大きい。一人の意向でプロジェクトが左右されないネットワークの構築が必要となろう。それには保健省のみならず国際機関や他の援助機関との定期的会合を持つことが有益であると思われる。

2) 国内支援体制について

本プロジェクトは家族計画のIEC活動を中心としたプロジェクトである。その関係で国内支援体制は先行プロジェクトのトルコ人口教育促進プロジェクトを踏襲している。我が国には人口教育のIEC分野の専門家は、その養成や確保の体制がないためトルコやケニアのプロジェクトにおいても視聴覚教育や疫学、文化人類学のバックグラウンドをもった専門家を派遣している。今後はこの分野の専門家の発掘の努力をこれまで以上に真剣に行わねばならない。しかしながら同時に、専門家が不足している現状では、プロジェクトを実施する中で専門家を養成していくことが考えられる。視聴覚教育、公衆衛生、人口学、メディア制作等の分野で経験は少なくても、情熱と能力を持った専門家を積極的に活用することが必要であろう。

3. 暫定実施計画の進捗状況

3-1 専門家派遣

ONFPの視聴覚部門は当初予想より体制が整っていない。そのため、ある時期まで日本側がイニシャティブをとって活動する必要がある。そこでメディア制作に関わる長期専門家の枠を増やすことが必要であると考え。

派遣する分野としてはビデオ制作、及びビデオ技術である。またカウンターパートの英語能力がほとんどないことから、長期専門家のリクルートに関してフランス語の能力を重視する必要がある。

3-2 研修員受入れ

家族計画IEC分野の研修に関して、日本での研修にIECに関連する科目が入っていないので改善してほしい旨要望があった。現在家族計画IECの研修員は家族計画国際財団の集団コースに参加しているが、今後はIECに関して補習を行う必要がある。IEC調査等に関しては公衆衛生院、メディア活動に関しては国際協力総合研修所、メディア制作に関しては沖縄国際センターやソニーなどが補習研修先として考えられる。

視聴覚メディア制作研修は沖縄国際センター視聴覚技術コースが最適である。しかし、集団コースへ個別研修員の参加は限界があるので、今後は他のプロ技協研修員とともに特設の視聴覚コースが設定されることが必要であろう。

3-3 資機材供与及び利用状況

IEC機材に関しては家族計画の教材作成のための視聴覚メディア制作機材が導入される。機材の水準に関してはチュニジアでの放送レベルに相当するものとされていた。1993年度機材はビデオの野外撮影と編集仕上げ機材が中心である。ビデオ機材は業務用ベータカムの水準である。ベータカムは放送局で使われるカメラであるが、放送用と業務用の差は機能・性能ではなく、頑丈さにあるので、放送局ほど使用頻度の多くないONFPのスタジオには適切な機材選定であると思われる。

1993年度機材でビデオ制作の活動は一応可能であるが、スタジオを運営するためにはスタジオ用カメラと照明機材が必要となる。スタジオの建設は時間的に多少遅れることが考えられるが、完成の状態を想定してシステムを考える必要がある。

1994年はスタジオ関係機材、1995年は研修用機材が中心になる。また巡回教育用車両は巡回教育の活動とメディア制作の状況を見ながら導入する必要がある。

4. カウンターパートの現状

本プロジェクトの4名のカウンターパートに関して、以下のように概説する。

(1) MOHAMED REZGUI (AV課長) 48才 勤続14年

AV課のチーフとしての任務は良くこなし、総合的に言えば責任者としての責任感を持ち合わせている点、4人の中では一番優れている。しかし今後の視聴覚センター完成後の新AV課のリーダーとして制作全般の責任者となるには技量が足りないようである。勤続年数に比例したプロダクション業務における十分な経験がないためである。制作全般の技術的な知識も少ない。むしろ管理部門における事務能力に適しているようである。彼にオールラウンドプレイヤーを望むことは、年齢的に無理があるようである。仮に一技術担当者としての任務を命ずれば編集オペレーターでもミキサーでも可能だろうが、例えばカメラマンを命じられた場合彼自身が納得するか疑問である。役職や勤続年数に関係なく実力で判定すれば彼にとっては厳しい点数といえる。本来はプロデューサー（出来ればディレクターも兼任）として企画立案からシナリオ、スタッフ、スケジュール決定、更に撮影、編集完成までの全プロセスの総責任者となるべき立場を彼に期待するのだが、潜在能力は残念ながら現状が限界のようである。

(2) ABDALLAH SAIDI (カメラマン) 40才 勤続11年

人柄は陽気で常にユーモアも持ち合わせ好感が持てる。年齢的にも取材スタッフとしてまだ通用できる体力を持っている。しかし半面粗野な性格もあり勤務態度において責任感も薄く指導力は持ち合わせていない。ONFP自主制作の〔「TUNISIE LE FUTURE AU PRESENT」ドキュメンタリー8分物〕のディレクターをこなし、カメラマン、編集オペレーターも兼任した点、一応の評価はするが作品的には構成、技術共及第点以下でTV放送用には使えない。期待できる点はやる気を持ち合わせておりテープ整理、機材整理も積極的に行ない日本研修も意欲的であるのでカメラマン兼編集オペレーターを経てディレクターとして仕事の出来る可能性は持っている。

(3) HEDI BEN JRAD (オーディオ) 53才 勤続25年

25年の勤続年数で表彰も受け4度のアメリカ取材の経験など16ミリ映画時代からのベテランである。性格温厚で好感が持てる。フィルム時代からのオーソドックスな撮影録音照明の技法から編集までの技術は経験から心得ているがビデオになってからはONFPの使用機材、規模からして放送向けの質を要していない為に電子機器の知識は持ち合わせていない。

現在は録音担当という分担にのみ従事し、後は定年を待つのみといった姿勢である。指導力もなく後任者の育成にも適していない。日本での研修なども既に本人が諦めている感じがする。本人は構成やシナリオ台本も作れると言うが実績はない。本人が撮影クルー参加にも積極的でなく他のスタッフも年齢的なハンディキャップを認めた形で接している。将来性は期待出来ないが今後も録音担当兼スタジオ機材管理のような業務であれば可能である。

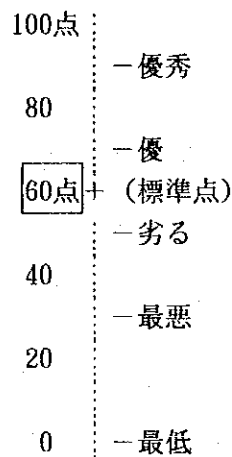
(4) ADEL GOUIA (スチール兼ビデオカメラマン) 28才 勤続3年

28才と一番若く4人の中では年齢的にも、向上心、将来性に期待の出来る人材である。

8年間のフリーランサーとしてのスチールカメラマンの経験を経てビデオカメラマンも器用にこなしている。技術的にはまだ未熟だが指摘されればすぐに覚えて実行する点、指導次第ではどのような部門もこなせると思われる。仕事への熱意があり日本研修にも積極的でいわゆるこの業種に適した性格と言える。手先も器用で機材の保守管理担当も兼任可。性格はやや短兵急ではあるが好感の持てる人柄でアグレビ副総裁も好んで用命しているほどである。

氏名 項目	REZGUI	SAIDI	JRAD	GOUIA
技術力	50	50	60	50
勤務態度	65	50	50	60
積極性	55	55	40	65
チームワーク	60	50	60	60
将来性	50	65	30	70
平均点	56点	54点	48点	61点

基準 テュニジアにおけるプロ制作スタッフとしての能力評価
ERTTやレムケチェールプロのスタッフと比較した



5. 実施運営上の問題点

5-1 プロジェクトの現状

(1) テュニジアの人口推移概観

1992年末には8,640,000人の人口規模を持ち、人口増加率は1.91%と推定されている*。この出生率は前年度と変わらない。これは1991年の結婚件数が前年比6%増加したために1992年の出生者数が若干増加したことが主な原因と考えられる。また、出産可能既婚女性の99%が避妊の知識がありながら、何らかの避妊手段を実践しているのはそのうちの54%にすぎない。チュニジア政府は第8次5ヶ年計画の最終年である1996年には人口増加率を1.8%に下げることが目標として掲げている。これは19歳以下の人口が48.42%**にもものぼっている現状に鑑み、このまま行けば年次結婚数の増加に起因する出生率の過増で経済発展を阻害する人口過多の現象が起きることもありうるかと推測されるからである。

* :1992年の活動報告書による。

** :1991年統計値。出典：“La Population en Tunisie” ed. par Dr. Mohamed Boukhris p.115.

(2) I E C活動の現状

ONFPの現在のI E Cアプローチについて、1992年の活動実績からまず概観してみる。

1) 照準を絞る

普及活動の対象を若者と僻地住民とする。

2) 情報戦略

実際に避妊を行なった人の体験談や医療保健に携わる専門家の指導による不安感の除去並びに根拠のない噂の克服

1992年度は普及する避妊方法のうち経口避妊薬に重点を置き、関連するONFPの調査結果の発表を行ない、産後の女性にピル服用奨励のビデオを見せた。また、避妊全般についての情報の普及を行なった。

3) 教材の考案と作成

a) 新たな避妊手段ノールプラントの紹介、促進の教材作成***

b) 一般教材の改訂

4) 特定の個人及び集団への接近

a) 指導員の活動能力向上のためのセミナー定期開催

b) 複数分野連携キャラバンの組織：

1992年度は4つの連携キャラバンが組織され12の県を訪れた。この活動により10,000件

の家族との接触がもたれ、500人以上の女性が診察を受けた。また各地の『青少年の家』を利用して若者を対象に人口教育を内容とするビデオ教材の放映が行なわれた。巡回のあと各県で評価会が開かれた。

***:個々の避妊方法の教材としては、ルーズリーフ式テキスト（紙芝居形式）

A4三折りのリーフレット、家族計画啓蒙を狙ったものとしてはポスターなどがある。

5) 通例の情報伝達手段

- a) テレビ……アラビア語国営放送、スポット広告、週単位
- b) ラジオ……ラジオテュニス（アラビア語とフランス語の2局を持つ全国放送）及び主要地域ラジオ局（モナスティール、スファックス、ガフサ）、スポット番組、週単位
- c) 新聞……各紙、数週間にわたり人口教育の情報を広告、並びに家族計画のカウンセリングを行なうセンターの住所と電話番号を掲載。
（なおテュニス首都圏にある3つの家族計画の診療所の電話番号は主要紙の『役に立つ電話番号』の欄に常時掲載されている）
ONFPが主催あるいは共催する活動の取材、依頼及び各種インタビューによる広報活動。
- d) 記念日の推進……世界人口の日（7/11）や家族の日（12/11）などに政府の特別のメッセージを発表したり催しを展開する。

6) 共同パートナーとの関わり強化・促進

NGOとの連携

UNFP（テュニジア女性国家連盟）の行動支援

ATPF（家族計画テュニジアアソシエーション）への補助金援助

RCD（議会与党）との共同行動

次にこれまで行なわれた調査について簡略に述べる。

a) 最近の意識調査

CAP（英語ではKAP）調査：1987年にONFPとRONCO*によって行なわれた。

人口・保健衛生調査：1988年にONFPとIRD**により行なわれた。

b) 定期調査

まず各地域事務局の職員による調査結果が本部に送られてくる。これは人口教育に関する機関（診療所、病院etc.）ごとに男女何人にコンサルティングを行なったか、あるいは

は学校で家族計画について討議の場を持ちどれくらいの人数に対峙したかなどの数値情報を内容とする。次にフォローアップがある。これは知識普及の「教育」という手段でそれまでに関与した人々について、その後避妊のいずれかの方法を採用したかあるいはいずれをも拒否したかなど、教育後の行動についての追跡調査である。

* :RONCO Consulting Corporation

** :Institute for Resource Development

5-2 問題点

ONFPのカウンターパートとの懇談、ガベス出張時の情報収集並びにこれまでのONFPと国際協力機関による活動報告や研究発表の資料から考察すると、以下の諸事項に問題が所在すると考えられる。

(1) マスメディア広告の質

これまでにONFPで作成されたスポットビデオを何本か観たが、映像や音声の技術的な問題もさることながら、脚本の内容・構成の方法などかなり改善を必要とする。1993年度のマスメディアを使っての広報活動は前項の5)のa)からc)の広告媒体に加えポスターの掲示を行ないそれら4つの手段を時間的にオーバーラップさせながら集中的に展開されたにもかかわらず、一般市民へのインパクトは弱かった。またテレビのスポット番組やポスターの中にはメッセージを明確に伝えていないものがあるとの指摘が地方の事務局長からあった。実際、ガベスの地域病院の家族計画相談室に貼られてあった2種類のポスターはいずれも何を言わんとしているか理解しにくいものであった。

(2) 地域指導員の人材の確保・育成

巡回指導に関してONFP地域事務所から挙げられた問題点として、まず指導員の巡回移動の便宜調達の困難性がある。これは事務所の財政難に起因するという。すなわち、財政難から巡回車を必要な台数だけ購入できない、車はあっても運転手に支払う日当が潤沢ではないことなどから指導員の巡回活動に物理的制限が課されているというのである。しかしながら巡回指導車の採算性の研究報告* によると指導員がしかるべきときに巡回しなかった理由の40%は悪天候、危険な道路状況、不十分なスケジュール調整、指導員のやる気のなさなどであった。また僻地で働くのを嫌う傾向が一般にあり、人口教育に従事する人々もその例外ではない。とりわけ若い女性にとって僻地での勤務というのは厳しいものであり、地域指導員としての定着が困難であるという。ONFP本部から指摘された問題はセミナー開催場所の不足であった。地方では多くの指導員を一堂に集めて講習会を開けるような集会所が欠如している。そのため技術指導の実施が困難であるようである。この問題解決の一助として、指導員の技術指導のビデ

オ製作が急務と思われる。先月のワークショップでカウンセリングの手法についてのビデオが公開されたが、それは単にチュニス近辺のカウンセラーの仕事を撮影しただけにすぎないものであり、実際に地方で働いている指導員のニーズに答えたものとは言えない。指導員が誇りと自信を持って仕事に励めるようなビデオ教材が必要であろう。

(3) 調査結果・統計資料の処理

定期調査結果及び統計資料の内容、処理及び分析方法に問題のあるものがあり、統一認識による整理の必要性があるようである。ONFPの総裁からも、より正確な調査結果を得るための方策を検討するよう、職員に指示が出された。また、全国の情報をまとめて報告書を作成するに際して、各地域からの情報を単に合計や、百分率などの初歩的統計手法で処理しているだけである。資料に普遍的価値を持たせるためには、統計学的処理手法及び社会学的分析手法を取り入れた情報資料を作成する必要がある。

(4) ONFP本部の問題意識

今年一月初めのコミュニケーション部との懇談で幹部は、以下のように述べた。「IEC活動に関しては別に問題はないと思う。これまで協力を受けた他の外国援助機関からも良くやってきたと評価されている。」このコメントがONFP本部のIECにたずさわる職員の考えを代表している。彼らによると最近の活動に滞りがあるとすればそれは不十分な予算の制約を受けるからであり、あるいはまたコミュニケーション部部長が副総裁の兼任であり、更に他の機関の要職にもあるため速やかな活動の履行が妨げられるからだという。しかし、地方の事務所からは教材の内容に対する不満より集約的なIEC活動を望む声があがっている。

* : "Evaluation des Unites Mobiles de Planning Familial en

Tunisie au cours de l'Annee 1985 [1985年におけるチュニアでの家族計画巡回指導車についての評価]", ONFP人口部 (現在では企画調査部) pp. 41-42

5-3 展望

ONFPは1994年から3年間のIEC活動の重点目標を『日の当たらない地域〔地方の中でもとりわけ辺鄙な地域〕』に定めることにした。そして若者、出産可能既婚女性、配偶者の男性のそれぞれへのアプローチを展開することを宣言した。しかしどのように活動を推進していくかについては当地の特殊性に適した独自の方策は見出されていない。この状況の下、最初に実施すべきことは重点目標地域の現状に精通し、それに十分な検討を加えてから活動計画を作成することであろう。そして地域指導員の確保・質の向上を強力に推進して行くことが極めて重要であろう。前述の巡回指導の採算制についての報告ならびに人口教育におけるIECの役割についての実証研究**も巡回指導員の活動が避妊方法新受容者の増加率に極めて多大な貢献をしていることを報告している。

僻地での人口教育にはこのIECを中心とした巡回指導を強化し、かつインフラの整備、公衆衛

生の向上、識字率の上昇など他の分野の活動と連携を取りながら長期展望をもった活動が必要とされよう。短期的な結果の蓄積を追求することに力点を置きすぎることなく、長期的活動の重要性をカウンターパートに対して指導すべきである。

**：“The Role of Information, Education, and Communication in Family Planning Service Delivery in Tunisia”, Francine M. Coeytaux, Taoufik Kilani and Margaret McEvoy, STUDIES IN FAMILY PLANNING, Vol.18, no.4, July/August 1987. pp229-234.

この実験報告によると、

巡回診療サービスに指導員による情報の普及・教育活動をタイアップさせた地域の避妊方法新受容者増加率(a)は、同じ時期に、(b)すでに医療施設の整っている地域、(c)診療所を新たに設置した地域それぞれの新受容者のそれよりも格段の伸びを示した。1983年7月-12月の受容者をもとに実験期間である翌年の同時期(1984年7月-12月)の増加率をみるとそれぞれ(a)298%、(b)57%、(c)65%である。また(d)IECの巡回サービスだけが行なわれた地域のそれも125%の伸びを示した。

附 属 資 料

- ① 協議議事録
- ② Procès - verbal de réunions
- ③ プロジェクトPDM
- ④ 国家家族人口公団組織図

① 協議議事録

MINUTES OF MEETING
BETWEEN
THE JAPANESE CONSULTATION TEAM AND
THE NATIONAL OFFICE OF FAMILY AND POPULATION

The Japanese Consultation Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Chihiro Oishi Director of 2nd Medical Cooperation Division, visited the Republic of Tunisia from 18th to 27th November 1993, for the purpose of reviewing the activities concerning the Project for the Promotion of Family Planning Education (hereinafter referred to as "the Project") based on the Record of Discussions signed on March 23rd 1993, and discussing the future implementation plan of the Project.

During its stay in the Republic of Tunisia, the Team exchanged views and had a series of discussions with the Tunisian authorities concerned in respect of desirable measures to be taken by both Governments for successful implementation of the Project.

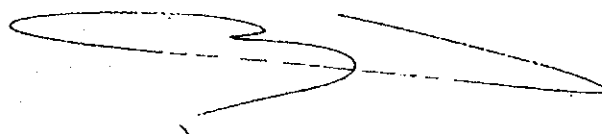
As a result of the discussions, both sides agreed to recommend to their respective governments the matters referred to in the documents which are attached hereto.

Tunis, 26th November 1993

Mr. Chihiro Oishi
Leader of Consultation Team
Director of 2nd Medical
Cooperation Division
Japan International Cooperation
Agency

Dr. Mohamed Moncef BOUKHRIS
President Director General
National Office of Family and
Population

Chihiro Oishi



I. GENERAL REVIEW

The Project has started from March 23rd 1993 for five years for the purpose of promoting the Family Planning Education in Tunisia by reinforcing IEC (Information , Education & Communication) activities.

In accordance with the Record of Discussions signed by both sides on March 23rd 1993 ;

- 1) JICA dispatched two Japanese experts ; Chief Advisor and Coordinator , in June 1993.
- 2) Two Tunisian participants attended the JICA training program in Japan in August 1993.
- 3) The Japanese Chief Advisor accompanied Dr.Mohamed Moncef BOUKHRIS and Ms.Saida AGREBI to visit Turkey Project and exchange the opinions with the Turkish side in August 1993.
- 4) JICA dispatched an Audio-visual expert in August 1993.
- 5) The ONFP prepared the offices for JICA experts in November 1993.

Both Japanese and Tunisian Governments reviewed the activities already performed regarding the implementation of the Project. On the basis of this progress, both sides accepted to continue the cooperation in order to pursue the accomplishment of the Project.

P
12/10

+

II. SUMMARY OF DISCUSSIONS

In accordance with the Record of Discussions, both sides agreed upon the following matters :

- 1) Functions and responsibilities of the ONFP and the JICA team (ANNEX I).
- 2) The Project Design Matrix (ANNEX II).
- 3) The Implementation Plan of the Project (ANNEX III)
- 4) The construction proceedings the ONFP Communication Center are as follows :
The ONFP is finishing up the technical study and the preliminary steps necessary to launch building works of the Communication Center which should be ready by June 1994.
- 5) BARDO and GABES are designated as the model areas.
- 6) To establish the team of proper personnel engaging the Audio-visual activities in order to fully utilize the Equipment to be supplied by the Japanese Governments.
- 7) List of the long term Experts assigned and short term Experts for 1994 (ANNEX IV)
- 8) List of trainees received and candidates for 1994 (ANNEX V)
- 9) Human resources to support the administrative activities of the JICA team will be allocated on the basis of the internal regulations of the ONFP and its availability of the budget resources.

10

B

ANNEX I

FUNCTIONS AND RESPONSABILITIES OF
THE ONFP AND THE JICA TEAM

- The JICA team and The ONFP may propose new activities for discussions to improve the Project, but always as part of the Implementation Plan of the Project.
- Annual program should be established every year to plan the activities.
- Human and physical resources provided by the ONFP are determined by the availability of resources of its annual budget.
- Conception, performance, administration, supervision and evaluation of the Project will be the responsibility of the ONFP.
- JICA team will advise, suggest and make recommendations in order to improve the Project.

Handwritten initials: "K" over "TW"

Handwritten letter: "B"

ANNEX V.

LIST of Trainees received and
Candidates for 1994

Trainees received

1. Mr. Mahoud CHELBI (IEC) 17.08.'93 ~ 12.09.'93
2. Mr. Adnen BELHADJ AISSA (IEC) 17.08.'93 ~ 12.09.'93
3. Mr. Mohamed REZGUI (A V) 17.02.'94 ~ 12.06.'94

Candidates for 1994

1. Mr. Ahmed ZAKARIA
2. Mr. Rachid BEN SLAMA
3. Mr. Abdallah SAIDI
4. Mr. Fauzi MOSBAH
5. Mr. Chokri BEN YAHIA
6. Mr. Adel GOUIA

K
E

B

ANNEX IV

LIST of the Long Term EXPERTS assigned
and the Short Term EXPERTS for 1994

Long Term Experts

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| 1. Chief Advisor | 01.06.'93 ~ 28.05.'95 |
| 2. Coordinator | 01.06.'93 ~ 28.05.'95 |
| 3. Technical Expert (AV) | 23.08.'93 ~ 26.07.'95 |
| 4. Technical Expert (IEC) | 20.12.'93 ~ 16.12.'95 |

Short Term Experts

- | | |
|---------------------|--|
| 1. Technical Expert | (Family Planning Surveyer) |
| 2. Technical Expert | (Equip. Installation & Operation) |
| 3. Technical Expert | (Equip. Maintenance) |
| 4. Technical Expert | (Program Producer) |
| 5. Technical Expert | (Audio-visual education and
Program evaluation) |

KL

B

SCHEDULE OF ACTIVITIES
1993 - 1998

↓ BEGINNING OF THE PROJECT

ONFP Headquarters	Model areas	1993	1994	1995	1996	1997	1998
Strategie / IEC							
Evaluation of existing supports							
Identification of needs							
Conception of AV supports							
Planification							
Evaluation of project launching							
Production							
	Specific data collection and analysis.						
	Sensitizing for implication						
	Field research and evaluation (qualitative and quantitative)						
	Introduction of supports						
	Evaluation of supports						
Generalization of utilization							

b

K 70

**SCHEDULE OF ACTIVITIES
1993 - 1998**

↓ BEGINNING OF THE PROJECT

ONFP Headquarters	Model areas	1993	1994	1995	1996	1997	1998
	Setting up of plans and technical files	-					
	Launching of call for bids	-					
	Building and fittings		-				
	Installation of equipment		-	-			
Recruiting				-			
Training in Tunisia						-	
Training in Japan							-

h

TKA

ANNEX I I

THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION PROJECT FOR PROMOTION OF FAMILY PLANNING EDUCATION IN TUNISIA / PROJECT DESIGN MATRIX

Narrative Summary	Verifiable Indicator	Means of Verification	Important Assumptions
<p>Overall Goals</p> <ul style="list-style-type: none"> Achievement of national objectives regulating the demographic growth 	<ul style="list-style-type: none"> Annual index of population increase rate Achievement of national target figure 	<ul style="list-style-type: none"> Ministry of Public Health / ONFP Statistics and monitoring 	<ul style="list-style-type: none"> Principal of population policy should be kept same. Role and function of ONFP should be kept same.
<p>Project Purpose</p> <ul style="list-style-type: none"> Higher contraception practicing rate 	<ul style="list-style-type: none"> Annual contraception practicing rate 	<ul style="list-style-type: none"> Ministry of Public Health / ONFP Statistics and monitoring 	<ul style="list-style-type: none"> Principal of population policy should be kept same. Role and function of ONFP should be kept same. Family Planning principal of ONFP should be continued.
<p>Outputs</p> <ol style="list-style-type: none"> Monitoring and evaluation for IEC activities in the model area To up-grade video production equipment at ONFP Communication Center To improve video materials in quality and quantity To develop the IEC personnel's competence to utilize media To promote Family Health IEC activities in Tunisia starting from the model areas 	<ol style="list-style-type: none"> Monitoring and evaluation records List of equipment supplied, frequency of use Resteactive Numbers of materials and programs produced Numbers of seminars and participants Numbers of screening 	<ul style="list-style-type: none"> Records by ONFP and JICA Project 	<ul style="list-style-type: none"> All running costs will be assumed according to the Record of Discussions of March 23rd 1993. Settlement of qualified personnel Procurement of seminar participants
<p>Activities</p> <ol style="list-style-type: none"> IEC Strategy set-up Baseline survey <ul style="list-style-type: none"> Knowledge, attitude and contraception practicing rate for family planning Media environment survey Up-grading of video equipment, and operation and maintenance training Developing materials and producing programs Training for media utilization Implementation of IEC activities in the model area (seminar, screening and etc.) Evaluation for IEC activities Creation of IEC activities' model 	<p>Inputs</p> <p>Long term experts</p> <ol style="list-style-type: none"> Cheif Advisor Coordinator Technical Expert (IEC) Technical Expert (Video producer) <p>Short term experts</p> <ol style="list-style-type: none"> Technical Expert (Family Planning surveyer) in accordance with Technical Expert (Equipment installation and operation) the necessities Technical Expert (Equipment maintenance) Technical Expert (Program producer) Technical Expert (Audio-visual education and program evaluation) <p>Trainees</p> <ol style="list-style-type: none"> Family Planning Media producer Equipment maintenance <p>Equipment to be supplied</p> <ol style="list-style-type: none"> Equipment for ONFP Communication Center Tools for training Vehicle for Audio-visual activities 		<ol style="list-style-type: none"> Positioning of counter-part Settlement of trained personnel <p>Pre-conditions</p> <ul style="list-style-type: none"> Construction of ONFP Communication Center Preparation of Experts' offices

K



Tunis, le.....

Procès-verbal de réunions

entre l'Equipe de Consultation Japonaise et l'Office National de la Famille et de la Population

L'équipe de consultation du Japon (ci-après désignée comme "l'Equipe" constituée par l'Agence de Coopération Internationale du Japon (ci-après désignée comme JICA)) et présidée par M. Chihiro Oishi, Directeur de la Deuxième Division de la Coopération Médicale, a visité la République de Tunisie du 18 au 27 Novembre 1993, dans le but de passer en revue les activités concernant le Projet de Promotion de l'Education en Planning Familial (ci-après désigné comme "le Projet") sur la base du document des discussions signé le 23 Mars 1993, et de discuter du plan d'exécution prévu du Projet.

Durant son séjour dans la République de Tunisie, l'Equipe a échangé les points de vue et a eu une série d'entretiens avec les autorités tunisiennes concernées se rapportant aux mesures qu'il serait souhaitable de prendre par les deux gouvernements pour une exécution réussie du Projet.

Les résultats des discussions ont abouti à un accord entre les deux parties de recommander à leurs gouvernements respectifs les points auxquels il est fait référence dans les documents ci-joints.

N.B. Ce procès-verbal a été établi dans les deux versions anglaise et françaises.
En cas de litiges de compréhension entre ces deux versions, la version anglaise sera respectée.

Monsieur Chihiro Oishi
*Chef de l'équipe de consultation
Directeur de la 2ème Division de
Coopération Médicale
Agence de la Coopération
Internationale du Japon*

木石 千尋

Dr. Mohamed Moncef BOUKHRIS
*Président Directeur Général
Office National de la Famille
et de la Population*

I. APERCU GENERAL

Le Projet a démarré le 23 Mars 1993 et se poursuivra pendant cinq ans dans le but de promouvoir l'éducation en matière de Planning Familial en Tunisie par le renforcement de l'I.E.C (d'Information, d'Education et de Communication).

Conformément au procès-verbal des discussions signé par les deux parties le 23 Mars 1993 ;

- 1) La JICA a envoyé deux experts Japonais : un conseiller en Chef et un coordonnateur en Juin 1993
- 2) Deux participants de l'ONFP ont reçu une formation au Japon en Août 1993
- 3) Docteur Mohamed Moncef BOUKHRIS et Madame Saïda AGREBI accompagnés par le Conseiller en Chef ont visité le Projet en Turquie et échangé les points de vue avec la partie turque en Août 1993
- 4) La JICA a envoyé un expert en audio-visuel en Août 1993
- 5) L'ONFP a préparé les bureaux pour les experts de la JICA en Novembre 1993.

Les deux parties ont passé en revue les activités déjà réalisées concernant l'exécution du Projet et son état d'avancement à la suite de quoi, les deux parties ont convenu de continuer la coopération entre les gouvernements du Japon et de la Tunisie en vue de poursuivre la réalisation du Projet.

II. SOMMAIRE DES DISCUSSIONS

Conformément au procès-verbal des discussions, les deux parties se sont mis d'accord sur ce qui suit :

- 1) Les fonctions et les responsabilités des équipes de l'ONFP et de la JICA (Annexe I)
- 2) La matrice modèle du projet (Annexe II)
- 3) Le plan d'exécution du Projet (Annexe III)

✕

4) Les procédures pour la construction du Centre de Communication de l'ONFP sont comme suit :

L'ONFP en train de finaliser le dossier technique et les étapes préalables nécessaires au lancement des travaux de construction du Centre de Communication à Bab Saâdoun. La construction devrait être achevée vers fin Juin: 1994

5) Le Bardo et Gabès sont désignées comme zones pilotes

6) La constitution de l'équipe en personnel adéquat pour les activités de l'audio-visuel en vue d'une utilisation optimum des équipements à fournir

7) La liste des experts à long terme désignés et des experts à court terme pour l'année 1994 (Annexe IV) au vu des besoins ressentis

8) La liste des stagiaires déjà recus et des candidats pour 1994 (Annexe V)

9) Les ressources humaines pour assurer les activités administratives de l'équipe de la JICA seront fournies sur la base des réglementations internes de l'ONFP et les disponibilités des ressources budgétaires.

+

ANNEXE I

Fonctions et Responsabilités de l'ONFP et de l'équipe de la JICA

- L'équipe de la JICA et l'ONFP peuvent proposer de nouvelles activités pour discussions aux fins d'améliorer le projet, mais toujours dans le cadre du plan d'exécution du Projet ;
- Le programme annuel doit être établi chaque année pour planifier les activités ;
- Les ressources humaines et matérielles fournies par l'ONFP sont déterminées par la disponibilité des ressources de son budget annuel
- La conception ,la réalisation , l'administration, la supervision et l'évaluation du projet seront la responsabilité de l'ONFP ;
- L'équipe de la JICA apportera conseils, suggestions et recommandations en vue d'améliorer le Projet.

†

LES GRANDES LIGNES DU PROJET

ANNEXE II

SOMMAIRE	INDICATEUR DE MESURE	REFERENCE	PRINCIPES DE BASE
<p>Objectifs globaux</p> <ul style="list-style-type: none"> • Réaliser les objectifs du gouvernement en matière de régulation de la croissance démographique <p>Objectif du projet</p> <ul style="list-style-type: none"> • Un taux plus élevé de la pratique de la contraception. 	<ul style="list-style-type: none"> • Indicateur annuel relatif au taux relatif au taux d'accroissement de la population. • Réalisation par rapport aux objectifs démographiques annuels. • Taux de prévalence annuel de la contraception 	<ul style="list-style-type: none"> • Ministère de la Santé Publique/ Office national de la Famille et de la Population. Statistiques et suivies • Ministère de la Santé Publique/ Office national de la Famille et de la Population. Statistiques et suivies 	<ul style="list-style-type: none"> • Le maintien des fondements de la politique de la population • Le maintien du rôle et fonction de l'ONFP. • Le maintien des fondements de la politique de la population • Le maintien du rôle et fonction de l'ONFP. • Continuation de la politique pour suivi par l'ONFP en matière de PF.
<p>Résultats escomptés</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Exécution et évaluation des activités IEC dans les zones pilotes. 2. Développement des moyens de production du Centre de communication de l'ONFP. 3. Améliorer les supports vidéo en quantité et en qualité. 4. Consolider les compétences du personnel de l'IEC dans l'utilisation des médias. 5. promouvoir les activités d'IEC en Tunisie en partant des zones pilotes. 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Suivi et évaluation des réalisations. 2. Liste des équipements fournis et fréquence d'utilisation. 3. Nombre des supports et matériels produits. 4. Nombre des séminaires et participants. 5. Nombre de campagnes. 	<p>Documents relatifs à l'ONFP / JICA.</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Le coût de fonctionnement sera assumé conformément à l'accord du projet • Consolidation en personnels qualifiés. • Organisation de séminaires aux participants.
<p>Activités</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Enquêtes préliminaires : <ul style="list-style-type: none"> - CAP - Habitudes médiatiques 2. Elaboration de la stratégie IEC. 3. Développement de l'équipement vidéo et formation en matière d'utilisation et de maintenance. 4. Développement des supports et production de programmes. 5. Formation en matière d'utilisation des médias. 6. Exécution des activités IEC à partir des zones pilotes (séminaires Focus group...) 7. Evaluation des activités IEC. 8. Elaboration d'un modèle pour les activités IEC 	<p>Ressources humaines et matérielles</p> <p>Experts à long terme</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Conseiller en Chef 2) Coordinateur 3) Expert en IEC 4) Expert en Audio Visuel. <p>Experts à court terme</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Expert en matière de recherche 2) Expert en installation et fonctionnement de l'équipement 3) Expert en maintenance 4) Expert en programmation 5) Expert en éducation et évaluation - Audio Visuel <p>Formation</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Planification familiale 2) Production médias 3) Maintenance de l'équipement <p>Equipements à fournir</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Equipement pour le Centre de Communication de l'ONFP 2) Equipement de formation 3) véhicule pour les activités Audio Visuel 	<ol style="list-style-type: none"> 1/ Désignation de vis à vis . 2/ Consolidation en personnel formé. <p>Conditions préalables :</p> <ul style="list-style-type: none"> • Construction des constructions du Centre de production Audio Visuel. • Préparation des bureaux des experts. 	

B

**PLANNING DES ACTIVITES
1993 - 1998**

1/20



Démarrage du Projet

SIEGE	ZONE PILOTE	1993	1994	1995	1996	1997	1998
Strategie / IEC							
Evaluation des supports existants							
Identification des Besoins							
Conception des supports AV							
Planification / Evaluation démarrage							
Production							
	Recolte données spécifiques et analyse						
	Sensibilisation pour implication						
	Recherche et évaluation sur le Terrain (qualitative et quantitative)						
	Introduction des Supports						
	Evaluation des Supports						
Exploitation Generalisée							

B

PLANNING DES ACTIVITES
1993 - 1998

DEMARRAGE DU PROJET



Personnel	Centre Audio Visuel	1993	1994	1995	1996	1997	1998
Recrutement Formation en Tunisie Formation au Japon	<ul style="list-style-type: none"> * Elaboration des plans et Dossiers Techniques * Lancement appel d'offre * Construction et Amenagement * Installation des Equipements 	<ul style="list-style-type: none"> - - - - - - - 	<ul style="list-style-type: none"> - - - - - - - 	<ul style="list-style-type: none"> - - - - - - - 	<ul style="list-style-type: none"> - - - - - - - 	<ul style="list-style-type: none"> - - - - - - - 	<ul style="list-style-type: none"> - - - - - - -

107

B

ANNEXE IV

Liste des Experts à long terme désignés et des Experts à court terme pour 1994.

Experts à long terme

- 1) Conseiller en Chef
- 2) Coordonnateur
- 3) Expert technique (AV)
- 4) Expert technique (IEC)

Experts à court terme *(suivant besoins)*

- 1) Expert technique (enquêteur de Planning Familial)
- 2) Expert technique (installation et utilisation de l'équipement)
- 3) Expert technique (maintenance de l'équipement)
- 4) Expert technique (Producteur de Programme)
- 5) Expert technique (éducation en audio-visuel et évaluation de Programmes)

f

ANNEXE V

Liste des stagiaires reçus et des candidats pour 1994

Stagiaires reçus

- | | |
|----------------------------|-----------------------------|
| 1) M. Mohamed CHELBI | (IEC) 17.08.1993 - 12.09.93 |
| 2) M. Adnane BEL HAJ AISSA | (IEC) 17.08.1993 - 12-09.93 |
| 3) M. Mohamed REZGUI | (AV) 17.02.1994 - 12.06.94 |

Candidats pour 1994

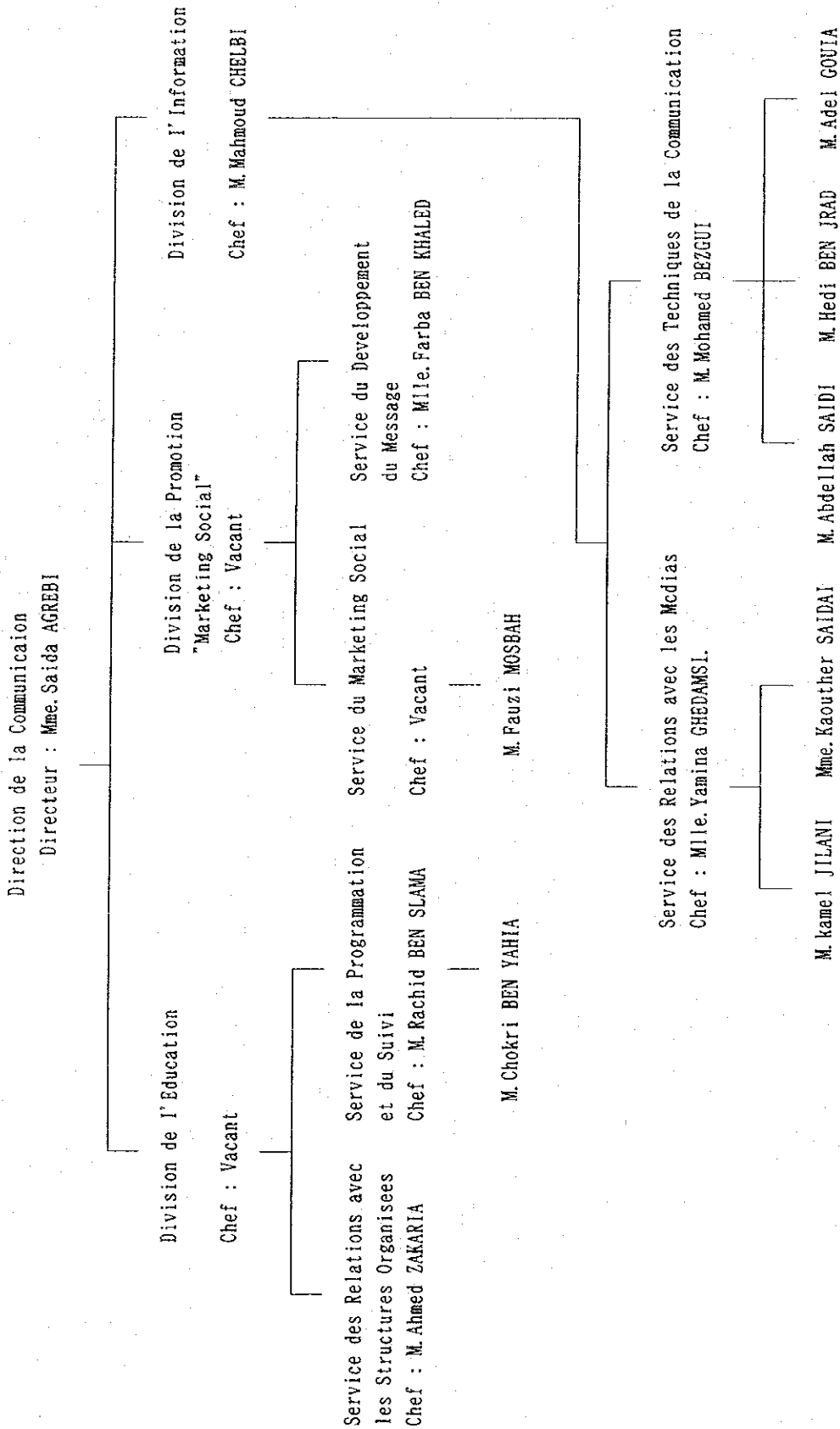
- 1) M. Ahmed ZAKARIA
- 2) M. Rachid BEN SLAMA
- 3) M. Abdallah SAIDI
- 4) M. Faouzi MOSBAH
- 5) M. Chokri BEN YAHIA
- 6) M. Adel GOUIA

③ プロジェクトPDM

テレニシア人口教育促進プロジェクト / P D M

Narrative Summary (プロジェクトの要約)	Verifiable Indicators (指標)	Means of Verification (指標データ入力手段)	Important Assumptions (外部条件)
<p>Overall Goals (上位目標)</p> <p>家族計画実施率の向上</p>	<p>・家族計画実施率の上昇経過 (前半調査との比較)</p> <p>・国家目標値への到達 (毎年1%増)</p>	<p>保健省・ONFP</p>	<p>人口政策の安定</p>
<p>Project Purpose (プロジェクト目標)</p> <p>家族計画情報の効果的伝播</p>	<p>・アンケート調査 (メディアへの接触回数・満足度)</p>	<p>プロジェクト内での記録</p>	<p>遠隔地他器具の安定供給 アクセス可能な医療機関の存在</p>
<p>Outputs (成果)</p> <p>1) 中央センターでのビデオ制作機材の充実</p> <p>2) ビデオ教材の質的・量的向上</p> <p>3) IEC活動従事者のメディア活用能力の向上</p> <p>4) モデル地区での普及活動の促進</p> <p>5) モデル地区でのIEC活動に関する調査・評価</p>	<p>1) 機材提供リスト・運用度</p> <p>2) 制作本数・制作チームの人数・名簿・ テレニシア放送への提供本数</p> <p>3) 研究会への参加人数・研修生名簿・回数</p> <p>4) IEC活動の種類・実施回数・参加人数 ・実施場所・対象者の種類</p> <p>5) 調査実施回数・評価の記録</p>	<p>プロジェクト内での記録</p>	<p>末端での機能的普及組織</p>
<p>Activities (活動)</p> <p>0) ベースラインサーベイ ・家族計画に関する知識・態度・実施率 ・IEC活動の種類・参加者数 ・メディアへの接触度</p> <p>1) ビデオ機材の改善・運用・保守管理の研修</p> <p>2) 教材開発及び番組制作の訓練</p> <p>3) 関係者へのメディア利用に関する研修</p> <p>4) IEC活動の実施 (セミナー・上映会等)</p> <p>5-1) 参加者からの反応の聴取</p> <p>5-2) 教材及びIEC活動の評価活動</p>	<p>Inputs (投入)</p> <p>長期専門家派遣</p> <p>1) リーダー</p> <p>2) 調整員</p> <p>3) IEC調査または視聴覚教育</p> <p>4) メディア制作技術</p> <p>1) 家族計画調査</p> <p>2) メディア制作技術 (機材提供)</p> <p>3) メディア制作技術 (機材操作)</p> <p>4) メディア制作技術 (機材保守管理)</p> <p>5) メディア制作技術 (教材開発)</p> <p>6) 視聴覚教育 (教材評価)</p> <p>研修生</p> <p>1) 家族計画従事者1名</p> <p>2) メディア制作技術者2名 (受入先: 沖国センター)</p> <p>機材供与</p> <p>1) IECセンター用・ビデオ屋外撮影用機材 (撮影・編集・ダビング他) 写真・スライド パソコン</p> <p>2) 研修用機材及び地域活動用機材・車</p> <p>3) 研修用視聴覚機材・OHP・VTR・TV</p>	<p>研修生の定着 機材の保守点検の実施</p> <p>Pre-conditions (前提条件)</p> <p>専門家・C/Pの確保 機材の予定通りの到着 ローカルコストの削減 中央視聴覚センターの完成</p>	

④ 国家家族人口公司組織圖



JICA